

松陰

Show-in

国士舘大学図書館・情報メディアセンター

巻頭言

発展する図書館の 役割と悩み

図書館資料専門部会 部会長
滝井 伊佐武

大学の図書館に期待される役割は何であろうか。

おそらく大学図書館に期待された従来の役割とは、研究を支援する機能であり、多くの資料を所蔵し利用に供するといったスタイルが一つの役割であったろう。しかし、学生が図書館で学習することも当然のごとく、大学図書館に求められてきた役割である。

かつて図書館で目的とする本を探そうと思えば、なかなかの苦労であった。カード目録というものをめくって、図書館の蔵書を検索したものである。現在はOPACが整備され、目的の資料を検索することは格段に容易になった。図書館の環境は大きく変化している。図書館という名で呼ばれていても、いわゆる紙の図書だけではなく、e-journalや映像資料も大幅に増加している。図書館が所蔵する資料も変わっているのである。本学の図書館・情報メディアセンターもまた、これまで幾度も大きな変化と発展を遂げてきた。図書館の役割が変わってきても、その変化に対応することができ、利用者の利便性が高まるのは大変に望ましい。図書館はこれからも発展し続けねばならない。

No.
32



CONTENTS

・巻頭言

・ラーニングサポーター実施中

・第10回講演会 開催

・第17・18回選書ツアー

・多摩図書館に「ラーニングコモンズ」
スペース誕生！

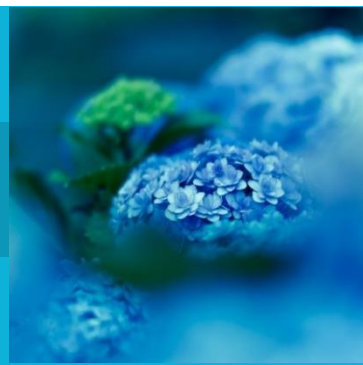
・お知らせ

その一方で、悩みもある。大抵の大学図書館がそうであるように、所蔵する資料の点数は増えていくのに建物内の保管スペースは有限で、将来に向けて十分な用意があるとは言えなくなって来ている。単純に出版年の古いものから廃棄して、スペースを作ればよいというものではない。年代を経た貴重な資料もあれば、昔のことを調べるのに必要な古い記録や資料もある。同時に最新の資料も必要であるし、空間は有限であり、悩むところである。巷間話題になった整理法で一気に解決、とは行かない性質のものである。

さらに図書資料の購入でも悩みが生じている。既存の建物内の空間が有限であるのと同様、予算も無限ではなく有限である。これまで購入してきた逐次刊行物をそのまま購入し続けるわけにも行かなくなってきたのだ。購入してきた雑誌資料を見直して、不要な刊行物の購入を中止していけば予算内に収まる……などというのは至極当然である。問題は簡単ではない。というのも、「不要」な資料を購入し続けて来たわけがなく、どの資料も必要だから継続購入して来た筈なのである。

発展する図書館の役割と悩み

図書館資料専門部会 部会長滝井 伊佐武



そもそも必要な資料とは何を意味するのだろうか。誰にとって、何のために、いつ必要なのか。学生にとって、教員にとって、学習のために、研究のために等々、色々なケースを想定し始めるとどれも必要な資料ばかりだと思われる。いま必要性が低くても、将来において誰かにとって不可欠かも知れない。神ならぬ人には、あらゆる場面を想定することはできない。学習研究のために必要な資料は何でも揃っているというのも、大学図書館の理想像の一つであろう。残念なことに、理想は現実ではない。

実際のところ、泣く泣く幾つかの雑誌資料の継続購入を断念した。各学部・研究所の協力と同意を得て、図書館・情報メディアセンター職員の調査のもと、購入を中止する雑誌を抽出する作業をおこなった。多方面の職員の方々の尽力もあった。そして、一部の雑誌資料の継続購入を中止することで、予算内での図書資料の調達が可能になった。将来に向けて必要になる新たな書籍資料を購入し、どうしても必要な雑誌資料を継続的に確保するためには避けて通れない方法であった。購入を中止した雑誌の書架に最新号が並ばない日が訪れる。学術資料を保管・閲覧・提供する大学図書館としては、まことに悲しいことである。閲覧複写したい雑誌が購入中止になっていたという事態がやがて生ずるかも知れない。しかし、どうかご理解を頂きたい。

為替レートの変動により洋雑誌の購入価格が上昇することなどが予想されており、これからも資料購入は苦境が予想される。しかも幾つかの学部が断腸の思いで購入中止の雑誌を既に抽出したことで、削れそうなのは削ったことになる。今後さらに雑誌資料を削ることは相当に困難と思われる。図書館の機能を高いレベルで維持するのは、誠に難しい。

図書館というものの役割は何かと問えば、本を借りるところ読むところという答えが返ってくるだろう。とはいえ、現在の大学図書館は本を読み、借りる場所に留まらず、仲間と一緒に学習する場所にもなっている。以前からグループ読書室はもちろん存在したが、近時はラーニングコモنزの設置によって、大学図書館の役割は静かに本を探して読む場所に留まらず、議論しながら、つまり声を出して学習する場を提供している。一人で静かに開いた本のページに目を走らせるといったイメージは、もちろん今の大学図書館にも受け継がれている。だが現在の図書館では、PC やホワイトボードを用いてアクティヴに討論するイメージも定着しつつある。

本学の図書館・情報メディアセンターも蔵書の保管・閲覧のみならず、各種メディア資料の提供およびメディア環境の整備、そしてラーニングコモنزの整備等を通して大学図書館に期待される新しい役割を果たしている。ニューメディアの重要性も一層高まっており、図書館・情報メディアセンターは様々なニーズに対応して資料を整備している。そして、本学図書館の利用についてみると入館者数が増加しており、図書館の新しい機能に学生が馴染んできており、利用も盛んになっていると言えよう。大学図書館の果たすべき役割が増えている。その期待に本学の図書館・情報メディアセンターはこたえようと日々、努力をしている。発展し続ける努力を重ねている。本学関係者、そして図書館・情報メディアセンターの利用者のご理解と協力を請い願う次第である。

(たきい いさむ＝法学部)

ラーニングサポーター実施中

平成27年度より「ラーニングサポーター」と名称を変えた現役大学院生による学修支援を平成28年度も継続し、5名の大学院生に1週間に7コマの時間帯を担当いただいています。

本年度は、利用者が気軽に相談できる環境づくりを目指し、駐在場所を中央図書館1階総合カウンターの近くへ移動した他、サポーターからの「学生へのメッセージ」を掲示しています。

学部生皆さんがまさに今取り組んでいるようなレポートや論文作成を幾度となく経験し修めて大学院へ進学した先輩に、直接アドバイスを受けることの出来る機会です。

是非、相談にお立ち寄り下さい。

ラーニングサポーター

レポート・論文作成のノウハウの習得やその為の図書館活用法等、あなたの学修の向上を現役大学院生がサポートします。

課題が出たら
相談してみよう！

駐在中は
いつでもOK！
(予約不要)

レポート・論文の書き方
専門教科に関すること
何でもどうぞ！

タイムスケジュール

	月	火	水	木	金
3時限目 12:55～ 14:25	経営学				
4時限目 14:40～ 16:10	経営学		総合知的 財産法学		総合知的 財産法学
5時限目 16:25～ 17:55			工学	人文 科学	人文 科学

月曜日	3/4 時限目	専攻	経営学研究科
		得意分野	簿記論 財務諸表論 租税論
水曜日	4時限目	コメント	学部生の頃から会計の勉強をしています。テスト前等、試験直前でも簿記等会計の分からない事ありましたら、お気軽にご相談ください。又、勉強以外の事でもお声掛け下さったら、嬉しいです。
		専攻	総合知的財産法学
水曜日	5時限目	得意分野	知的財産法
		コメント	学部時代は現代ビジネス法学科で主に知的財産法について学んでおりました。現在も一貫して知的財産法について研究しております。知的財産法についてのみなならず、授業や課題、卒業論文に関わる資料の探し方など、何でも相談して下さい。お待ちしております。
木曜日／ 金曜日	5時限目	専攻	応用システム工学
		得意分野	生命・健康・医療情報学、脳計測学・生体医工学
金曜日	4時限目	コメント	理工学部健康医工学系で健康・医療・工学の基礎を学び、診療情報管理士の資格を取得、工学研究科修士課程を修了、現在博士課程にて、身体・脳機能の計測と評価を中心に研究しています。専門分野の他、Word/Excel/PowerPointの使い方、レジュメ、レポート作成、卒業論文、文献調査、学会発表や論文執筆についての相談も喜んでお受けします。まずはお気軽にお声かけください。
		専攻	人文科学
金曜日	4時限目	得意分野	文学作品に関する事やレポートのまとめ方等
		コメント	まず一度、お気軽にお声おかけください！レポートや卒論といった聞き辛い悩みも、年が近く経験のある私達にでしたら気後れる事なく、相談がしやすいと思います。
金曜日	4時限目	専攻	総合知的財産法学
		得意分野	知的財産法
金曜日	4時限目	コメント	元現代ビジネス法学科で、今は知的財産法を学んでいます。自分の経験を少しでも皆さんの学習に生かすことができればと思っています。お気軽にご相談ください。

(第1情報サービス課田村)

第10回講演会 開催

佐々木 正行 氏 『人生一度(中小企業経営四十二年)』

平成27年12月15日(火)、本学工学部卒業生佐々木正行氏を講師にお迎えした講演会を中央図書館グループスタディ室Eにて開催しました。

昭和44年に国土館大学工学部電気工学科を卒業された佐々木様は、同年4月に板金業界に就職され、三年後の昭和47年4月に株式会社佐々木工業の前身である『東京工機株式会社』に入社、同年10月社名を『有限会社佐々木工業所』に変更し代表取締役に就任されました。昭和51年に「株式会社佐々木工業」として上場しその代表取締役になりました。平成21年12月からは代表取締役会長として現在に至るまで株式会社佐々木工業を牽引しておいでです。

地元長野県佐久市の活性化にも広く貢献され、佐久市青年会議所や商工会議所・中小企業青年部などの理事や部会長、及び、株式会社佐々木工業も所属する佐久市工業団地事業協会組合理事など多くの重職を務めてこられました。現在は、上田信用金庫中込原支店総代・長野県シートメタル工業会会長・佐久商工会議所製造部会長及び常議員に就いておられます。

教育分野においても保育園や小学校・高等学校の保護者会・PTA・同窓会等の会長を歴任され、国土館大学に於いても平成22年から同窓会長長野県支部の会長を担っておられます。

近年「地域中小企業」は世界的にも注目され高く評価を受けるようになっていきます。小説やドラマ・情報番組でもその「裏側」や“技術者”がとりあげられ、多くの関心が寄せられています。まさにその「地方中小企業」経営者の方が講演に立たれるとすることで、学生のみならず、多くの公開利用者・教職員の参加がありました。

大学卒業後、営業として全国に足を運び“現場”と“取引”の経験を積まれた佐々木様は、大変に人を惹きつける話術をお持ちで、参加者は時に大きく頷き時に破顔し、講演に聞き入っていました。「会社を経営することは人を育てること」として技術者の育成にも力を入れられ、株式会社佐々木工業は工業板金一級技術技能検定に多数の合格者が出ています。また、徹底した品質管理と低コストの生産システムによりI O S 9 0 0 1を取得し、特殊な機器から学校の卒業記念品などの身近な品までどのようなオーダーにも対応している、と、実際の製品を紹介してくださいました。



2015年 図書館企画講演会
「人生一度(中小企業経営四十二年)」

工学部(後の佐々木正行氏)を卒業された佐々木様は、同年4月に板金業界に就職され、三年後の昭和47年4月に株式会社佐々木工業の前身である『東京工機株式会社』に入社、同年10月社名を『有限会社佐々木工業所』に変更し代表取締役に就任されました。昭和51年に「株式会社佐々木工業」として上場しその代表取締役になりました。平成21年12月からは代表取締役会長として現在に至るまで株式会社佐々木工業を牽引しておいでです。

株式会社佐々木工業
一級技術技能検定一級板金工
オーダー通りの製品に立てる技術者
・品質管理徹底 9001規格取得
・徹底した品質管理と低コストの生産システム
・顧客の信頼、満足づくり
・社会貢献 卒業生支援活動
・設備投資 設備投資可
・特殊な機器から学校の卒業記念品まで

《講師》
佐々木 正行(ささき まさゆき)氏
国土館大学工学部 卒業生
株式会社佐々木工業 代表取締役会長

日時:平成27年12月15日(火) 14:40~16:30(14:10開場)
会場:中央図書館4階 グループスタディ室E
対象:本学学生・教職員・公開利用者
定員:先着40名(申込み不要)
問い合わせ:中央図書館・情報メディアセンター 03-5481-3216



朗らかなお人柄とエネルギッシュな講演に、参加者からのアンケート回答には

- ・大きな熱意が感じられた
- ・社員育成に意を用いて、製品(良品)が生まれることが良く理解できた。何事にも通じると思う。
- ・現在の仕事をしっかり行いながら、先を見据えた政策をおこなっていることが素晴らしいと思った。
- ・話の組み立て方や話し方、歴史観、人生観を聞くことが出来、組織論・教育論についても聞けてよかった。

などたくさんの好評が寄せられる講演会でした。



お持ちいただいた製品の幾つか。



花瓶
ネームプレート
校章

講演の様子を収録したDVDを、中央図書館で視聴できます。
ご希望の方は中央図書館総合カウンターへお申し出ください。

(第1情報サービス課 田村)

図書館恒例の選書ツアーを実施しました

第17回

平成27年11月28日（土）、紀伊國屋書店新宿本店で実施しました。
10名の学生バイヤーにより選出された127冊の図書を、中央図書館に収蔵しました。

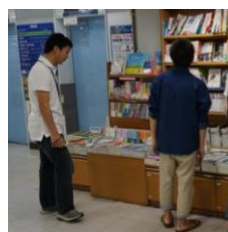


選書後のアンケートでは
「金額を気にせず自由に本を選んでみると自分の興味の対象がよりはっきりしました。」
「また参加したい。」
という回答が寄せられました。

このツアーで選出された図書は、平成28年1月下旬から7月中旬まで選書ツアー書架での展示後、一般書架に配架となっています。

第18回

平成28年6月11日（土）、紀伊國屋書店新宿本店で実施しました。
12名の学生バイヤーにより選出された166冊の図書を、中央図書館・鶴川図書館に収蔵しました。



選書後のアンケートでは
「予算が意外と高かったな、と思いました。」
「本をえらぶ大変さや忙しさを初めて経験することができて、とても良い時間をすごせました。」
という回答が寄せられました。

このツアーで選出された図書は、平成29年1月中旬まで選書ツアー書架で展示しています。
(1月下旬からは、「第19回選書ツアー」で選出された図書が並びます)

(第1情報サービス課 田村)

多摩図書館に「ラーニングcommons」スペース誕生！

笹岡文雄

本年秋期、鶴川図書館に続いて多摩図書館に「ラーニングcommons」スペースがオープンしました。増築された建物部分全てを使い、従来型の図書館とは違うコンセプトに沿った施設です。

鶴川図書館と同じくフリーとプレゼンテーションにエリア分けして、個別、グループ学習を共にできるようなフロア構成となっています。

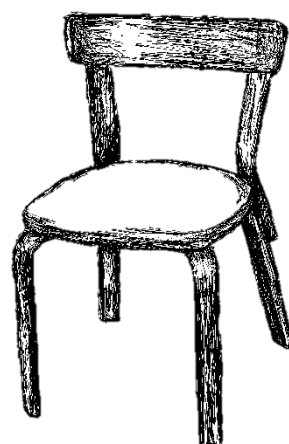
さらに壁全面ホワイトボードに投影した画面に書き込みもできるプロジェクターなど、学内にない設備をそろえました。

しかしまだまだ本来言うところの「ラーニングcommons」としての機能に欠けているところが多くあります。図書館ではこれに終わらず今後ハード、ソフト面共、より一層充実させたいと考えています。



お知らせ

2017年2月、中央図書館3階グループスタディ室C・Dの椅子をリニューアルします。使い方はいろいろ、グループ学修にも便利なものになります。すわり心地も改善されますので、ぜひご利用ください。



2017年2月13日(月)から2月23日(木)まで蔵書点検のため休館します。利用者の皆様に気持ちよく利用していただくための作業です。ご迷惑をおかけしますがご協力よろしくお願いいたします。

編集後記

「松陰」32号いかがでしたか。スピーディな発行を目指していますが、これがなかなか…なのです。これからも楽しみにしていただけるような「松陰」にするためがんばります。図書館は皆様の学修を支援するためにいろいろ考えて待っています。(待ってま〜〜す)(Y)

松陰『Show-in』
平成29年1月31日 第32号
発行：国士舘大学図書館・情報メディアセンター
編集：『松陰』編集委員会
〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1
TEL：03-5481-3213
Mail：libsyoin@kokushikan.ac.jp